

昭和39年 夏合宿の思い出と慰霊 ワンダーフォーゲル部（昭和41年卒業）

今回、当関東緑土会顧問の船越靖彦さん（土木工学科41年卒業）より、ワンダーフォーゲル部の41年卒業の武蔵工業大学OB（緑土会メンバー4名在籍）の「59年目の再会」として下記資料を頂きました。

昭和37年入学した15名。入学の年昭和37年に夏合宿として「北海道渡島半島踏破計画」が行われましたが、不幸にも、松山亮さん（土木工学科）が海岸で転落し不慮の死を遂げられたそうです。今年当時を思い出し59年振りに慰霊の旅を企画され、今回写真と共に資料を頂きました。ここに謹んで紹介します。（写真の最後に当時の計画書を添付しています）

59年目の再会

土木科41卒
WV部41卒 船越靖彦

WV部 41年度卒業一同

OB番号	氏名	専攻科	備考
87	太田隆三	機械科	
88	刑部峰男	電気科	死去
92	織田豊彦	電気科	
94	笠原 武	土木科	
91	櫻井 潔	機械科	
96	佐藤教隆	経営科	
90	佐藤正明	機械科	死去
89	田中威夫	機械科	
93	土子 肇	電気科	
98	新生明朗	経営科	
85	早川忠雄	建築科	
84	船越靖彦	土木科	
98	松山 亮	土木科	死去
86	吉野忠臣	土木科	
95	米野紀男	土木科	

上記が37年4月にワンダーフォーゲル部に入部したメンバーです。

この37年の部幹部の方は夏合宿として北海道渡島半島踏破計画を立案致しました。

それに従い総勢50人余、7パーティが編成され夏合宿が挙行されました。

国鉄で上野駅発、青森着 摩周丸にて渡北函館、国鉄で江差、徒歩鷗島

鷗島にて調達、準備を終え各パーティ集結地の恵山を目指し踏破開始

集結前日に古部到達、食後の自由時間に緑土同僚の松山君が海岸で転落

不慮の死亡事故が発生、葬儀を古部の地で執り行い、その後京都より来北の

ご両親に抱かれて故郷へ

当事1年生で下働きの我々は彼の御見送りが儘ならず、割り切れぬまま

現在に至りましたが、去年の同期会で松山の所に御見送りに行こうよの

気持ちの高まりで今年59年目のお参りが出来ました。

事故で亡くなられた 松山亮さん（土木工学科）



1、青函連絡船でガンバった摩周丸 青森方のデッキを走らされました。



2、新装の函館駅 登山姿は見受けません



3、最近人気の立待岬よりの海一望



4、江差港で沈没した海陽丸 戊辰戦争時の沈船を復元し、展示



5、鷗島の祭り岩 60年持った



6、松山を偲ぶの懇談会で 函館湯の川温泉における懇談



7、59年前の御礼まで 古部の当時娘さんに御礼



8、故松山亮氏罹災地にて、当時は海中であった



9、故松山亮氏罹災地にて 当時は海中、現在はトンネル



10、恵山公園 かつての集結地



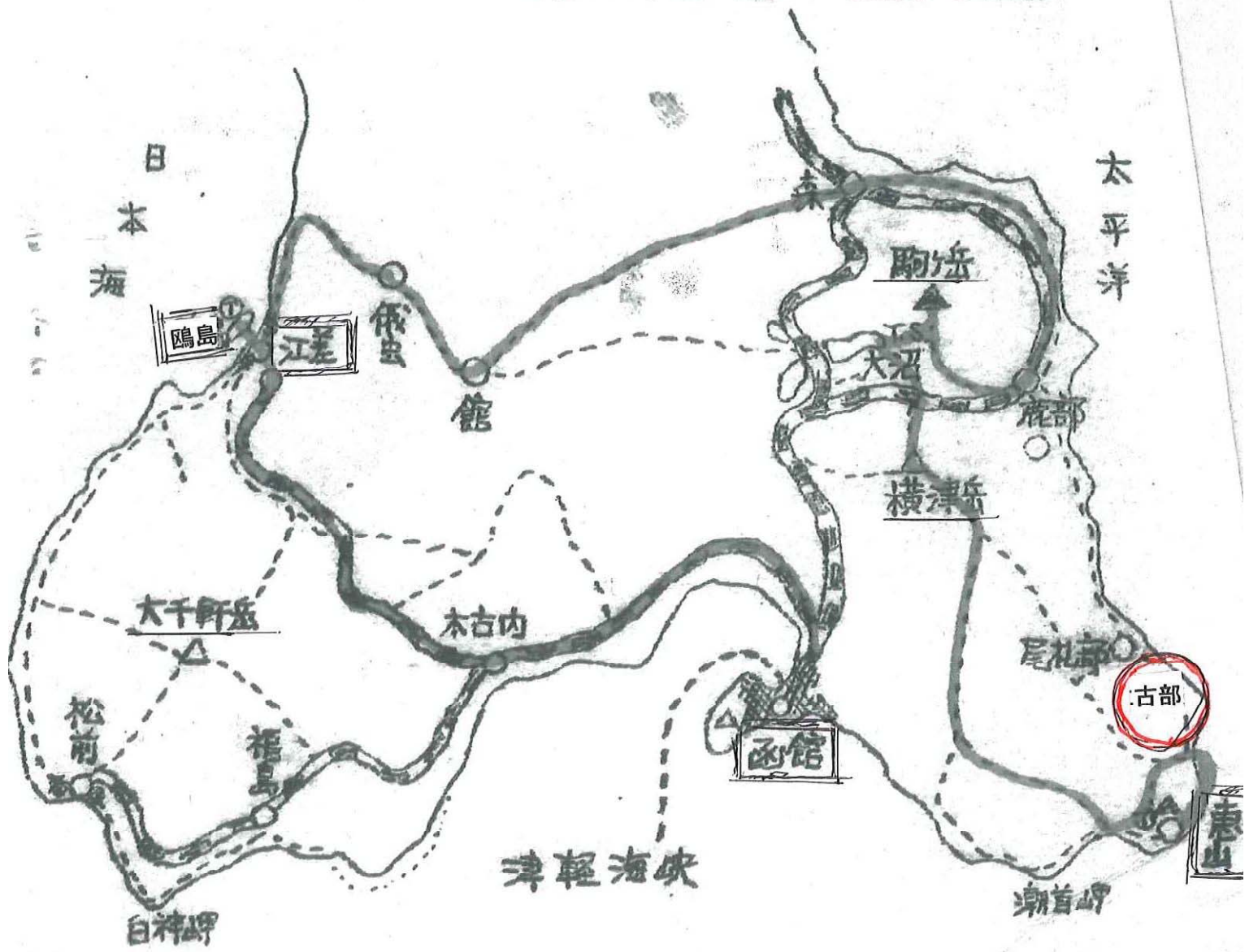
11、函館バスチャーター場にて 皆張り切っています！



昭和37年度

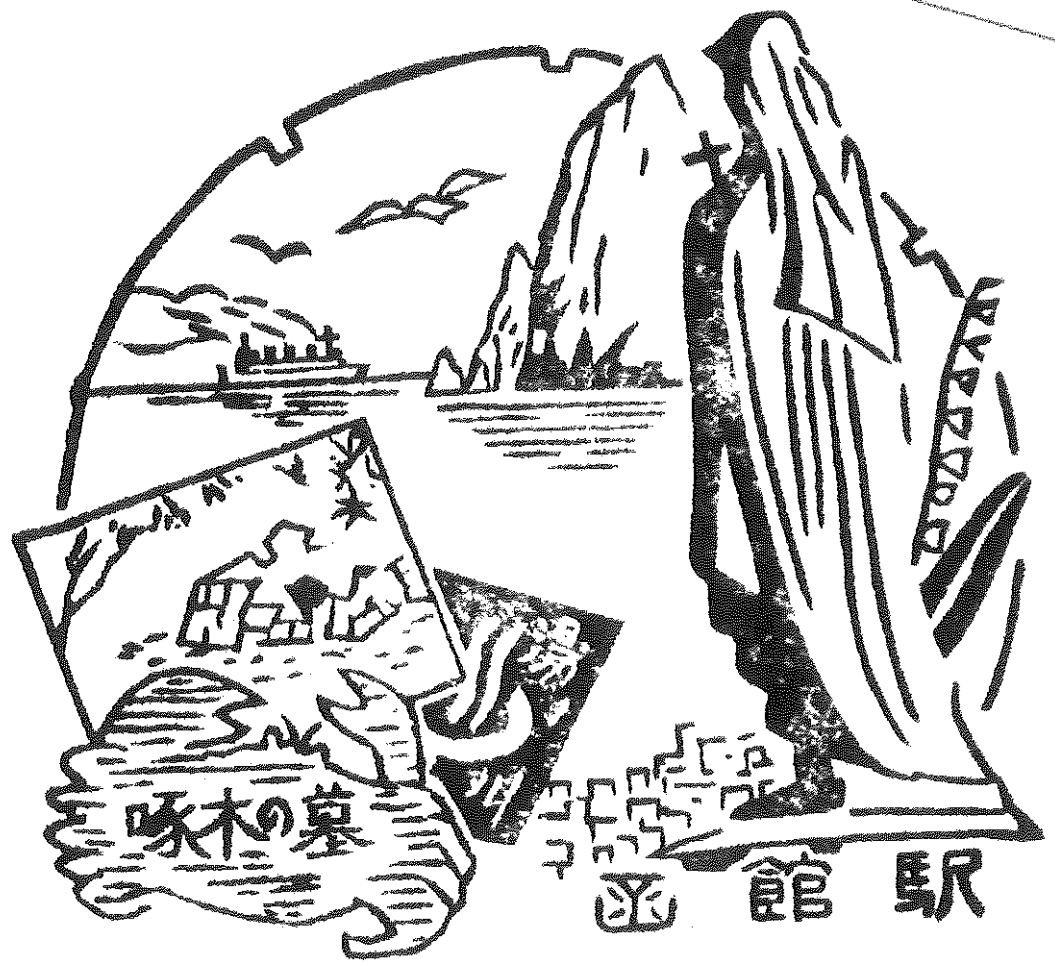
夏合宿 / 一卜

(北海道渡島半島)



頂要實施宿台復

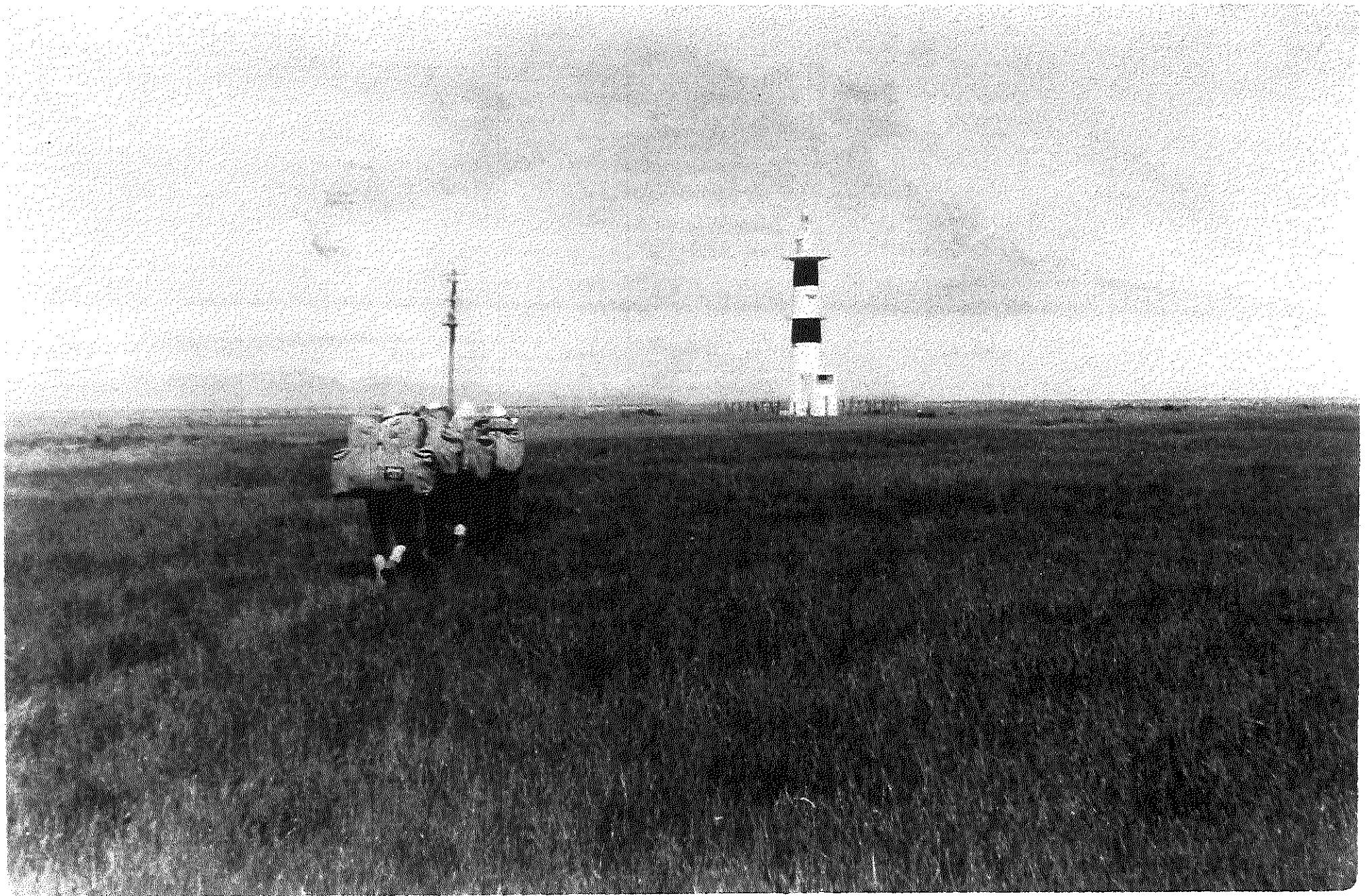
- [場所] 北海道渡島半島南部一帯
[期間] 昭和37年7月14日—7月31日
[方法] 分散集中形式



5	小島	東島	渡辺	桜井	吉野	織田
---	----	----	----	----	----	----

No. 5 P.L. 小島 貞成

日付	行 動 予 定	備 考
17	江差 — 古佐内川	
18	古佐内川 — 吉村牧場	
19	吉村牧場 — 左兵衛沢	
20	左兵衛沢 — 濁川上流	
21	濁川 — 逆川卸料	
22	逆川卸料 — 砂崎	
23	砂崎 — 大沼	
24	停 滞	
25	大沼 — 袴腰岳	
26	袴腰岳 — 龜田鉾山	
27	龜田鉾山 — 賊眉野	㊦
28	賊眉野 — 武井島	㊦
29	武井島 — 憲山	
30	停 滞	
31	憲山 — 函館 <解散>	



原砂良彦

砂崎の灯台 1917



袴腰島の三角架